

一財) 富田林市公園緑化協会みどりの情報誌

No. **115**

2025年10月発行

グリーン・あい

一般財団法人 富田林市公園緑化協会 TEL 0721-25-1000 FAX 0721-25-4110
ホームページ <https://tondabayashi-park.or.jp>



- ・第39回「まちの樹・緑」図画コンクール入賞作品
- ・草木でオモチャ作り・・・木の筆箱作り
- ・編集後記

- ・my little garden story
- ・お知らせ

第39回「まちの樹・緑」図画コンクール入賞作品

富田林市内の小学児童を対象とした第39回「まちの樹・緑」図画コンクールを開催したところ、735作品もの力作の応募がありました。審査の結果、最優秀賞1点、理事長賞1点、金賞5点、銀賞8点、銅賞10点、の合計25点が入賞作品に選ばれました。

たくさんのご応募ありがとうございました。

最優秀賞



富田林小 1年 金子 悠人

理事長賞



彼方小 4年 北井 穂香

金賞



川西小 3年 尾崎 璃音



富田林小 3年 金子 俊志



久野喜台小 3年 西山 仁菓



彼方小 5年 阪本 拓音



藤沢台小 6年 内藤 恵留



銀 賞



富田林小 1年 芝 花純



藤沢台小 1年 西川 蒼一郎



川西小 2年 境 北斗



富田林小 4年 芝 明里



寺池台小 3年 中谷 渚



向陽台小 4年 堀池 公德



寺池台小 5年 中谷 涼



向陽台小 6年 小林 夏実

銅 賞



彼方小 2年 細尾 汰桜



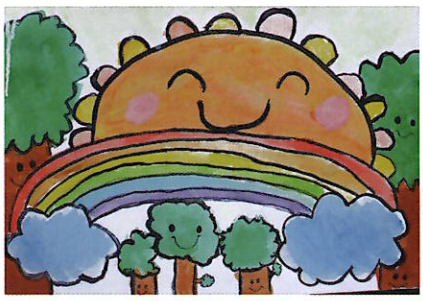
喜志小 2年 中嶋 莉愛



高辺台小 1年 小山 穂乃果



寺池台小 2年 中谷 朔



新堂小 2年 中筋 桃波



高辺台小 3年 小山 結衣花



大伴小 2年 佐藤 璃咲



喜志西小 2年 丸山 心暖



向陽台小 4年 藤原 孝大



大伴小 6年 井上 玲音

図画コンクール入賞作品展示のお知らせ

入賞作品25点を展示します。

①期間 令和7年10月17日(金)～10月30日(木) 場所 ケアセンター「けあぱる」

②期間 令和7年10月31日(金)～11月16日(日) 場所 コミュニティセンター「かがりの郷」



my little garden story

黄色いキノコ

春が過ぎ、6月になると大きなユリの花がたくさん咲き、お庭によい香りが漂いました。



今年も植物たちは夏に向けて枝葉を茂らせ、雑草もどんどん伸びて、夏の準備万端の状態でしたが、夏になると連日の酷暑、雨が降らない、熱帯夜が続き、毎日、お水をあげ続けても植物たちはぐったりしていました。

広場の雑草は、茶色く枯れてしまい、「いつまで雨の降らない日が続くのだろう」と思いました。



9月にはいっても連日、厳しい残暑が続きましたが、幸いに雨が降るようになりました。雨が降ると枯れていたはずの雑草が一気に新しい葉を出して成長し、穂を出し始めました。「雑草は、すごいです！」暑さと乾燥に負けることなく、じっと雨が降るまで耐えていたことに、そのすごさに感動させられます。



毎年、元気に生えてくるオシロイバナは、あまり成長しませんでした。朝夕に秋の気配が感じられる9月になってようやく花が咲き始めました。



植物にとって、私たちが毎日お水やりをする水分と、雨による水分と、違うのでしょうか。9月に雨が降るようになってから植物たちの葉がみるみる元気になってきました。

ある日の雨上がりの朝、「なにこれ!」、突然、オリーブの鉢植えの根元から黄色いキノコが生えていました。キノコは、土壌中の水分状態と気温にとっても敏感に反応するようです。



このキノコの名前を調べてみると、コガネキヌカラカサタケという名前、幸せを呼ぶキノコと呼ばれているようです。私はこのキノコに「家族みんな元気に過ごせますように」とお願いをしました。

黄色いキノコは、1日にして生え、夜中に傘を広げて翌朝には枯れてしまいましたが、数日後に降った雨上がりの朝、「おっ!」、2本目のキノコが生えました。

今年は、酷暑の夏、残暑の厳しい秋ですが、でも、もうすぐ冬がやってきます。

植物たちは、冬の準備をはじめていることでしょう。



草木でオモチャ作り

今回は、木の温もりが感じられる『木の筆箱』を作ってみましょう。

用意するもの

- ・杉板 ・磁石 ・ダブルクリップ ・木工用ボンド
- ・隠し釘 ・蝶番 ・ドリル ・金づち ・ペンチ
- ・のこぎり ・ドライバー



①

杉板をカットして天板と底板、側板（長）2枚、側板（短）2枚、間仕切り板の合計7枚の板を作ります。カットする寸法は、作りたい筆箱の大きさ、板の厚みを考慮して切り出してください。



②

底板と側板4枚を取り付けします。板と板の接地面に接着剤を塗布します。また、隠し釘を使い底板と側板（長）、そして側板（長）と側板（短）を固定しましょう。



③

天板を取り付けます。天板と側板（長）に蝶番を取り付けます。取り付ける場所は、外側でも内側でも構いません。蝶番を取り付けるビスは、抜け防止の為、接着剤を塗布してから締めてください。



④

筆箱のフタのセンターをダブルクリップで挟みます。フタを閉めたときにダブルクリップが接地する側板（長）に少し磁石の頭が出るぐらいの窪みを作ります。窪みに接着剤を塗布し、磁石を固定します。



⑤

筆箱の中に、鉛筆と消しゴムの間仕切り板を取り付けます。間仕切り板の高さは側板より1cmほど低くすることで、長めの定規を入れてもフタが閉まります。間仕切り板を接着したら木の筆箱の完成です。



※大人といっしょに作りましょう。

メンテナンスの定期便

一般財団法人富田林市公園緑化協会が管理する富田林市内の公園樹や街路樹の10月から翌4月までの定期メンテナンス予定表

作業	月	10	11	12	1	2	3	4	
除草									広場の草刈りをします
落ち葉清掃									自然林を除く、広場の落ち葉を清掃します
樹木の剪定									茂りすぎた樹木の枝透かしをします
枯れ木の撤去									立ち枯れの樹木を切り倒します
花壇の植え替え									パンジーなど冬の草花に植え替えます

作業	月	10	11	12	1	2	3	4	
除草									宅地沿いや道路沿いの部分を主に草刈りをします
落ち葉清掃									道路沿いの落ち葉を清掃します
枯れ木の撤去									立ち枯れの樹木を切り倒します

作業	月	10	11	12	1	2	3	4	
除草									街路樹や歩行者専用道路樹の植栽部分の草刈りをします
落ち葉清掃									樹木の大小、交通量に応じて、2週に1回、週に1回の落ち葉清掃をします
樹木の剪定									茂りすぎて支障のできた路線の整枝剪定作業をおこないます
枯れ木の撤去									立ち枯れの樹木を切り倒します
クスノキの落ち葉清掃									クスノキの街路樹の落ち葉清掃をします



樹木のメンテナンスに伴う作業中は、なにかとご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

お知らせ

ケアセンター「けあばる」で園芸教室を開催します。詳しくは開催月の市広報をご覧ください。
また、諸事情により講習会が中止または延期となる場合があります。

- ① 11月28日（金） 「季節の寄せ植え」
- ② 12月19日（金） 「季節の寄せ植え」

①②の講座はすべて、午後1時30分からはじまります。

定員 18人

場所 ケアセンター「けあばる」クラフトルーム
富田林市向陽台1-4-30



写真は昨年の12月の寄せ植え

花の種配布

「花の種 BOX」を下記の公共施設に設置し、9月下旬から秋まきの種子を配布します。

市役所1階都市魅力課、金剛連絡所、中央公民館、東公民館、金剛公民館、人権文化センター、市民会館、すばるホール、福祉会館、ケアセンター「けあばる」、総合スポーツセンター、体育館、かがりの郷

編集後記

今年は梅雨が短く、長く暑い夏でした。外出するのも億劫で仕事以外は家に引きこもりがちになり、筋肉量が落ちてきたのではないかと不安になりました。

ようやく気温が落ち着いてきましたので、散歩など外に出たいと思いますが、真夏の高温下ではあまりいなかった蚊が、気温が落ち着く時期に発生しだすので刺されないように対策して外出なくてはと思っています。

季節の二極化が顕著になってきたように感じます。四季の移ろいが美しい日本でしたが、今後とも足早に過ぎる春と秋になるのでしょうか。温暖化の影響なのか作物の不作などが出ているので、お米や野菜の値段が上がり、高価すぎて買うのをためらうなど食卓にも影響が出ています。



ススキ

イネ科ススキ属

学 名 *Miscanthus sinensis*
 花言葉 「活力」「心が通じる」
 「生命力」

尾花(おばな)とも呼ばれ秋の七草のひとつ。日本全国の日当たりの良い野山に広く分布しています。

茅(かや)とも呼ばれ、かやぶき屋根の材料に利用されていました。

以前は市内の空き地や道端に普通に見受けられましたが、除草など管理の良い場所では株が消滅してしまっています。

中秋の名月は、主に9月～10月の間で日にちが変わるため、お月見にススキを飾る風習がありますが、時期に幅があるためススキを探してもまだ穂が出ていないことがしばしばあります。



「緑の募金」のご協力ありがとうございました。
 募金総額780円集まりました。

みなさまからいただきました「緑の募金」は、国土緑化推進機構をつうじて、地域の人々の身近な緑化活動や次世代が参加する森林体験活動などの支援に大切に活用されます。

